

令和2年6月22日
大臣官房技術調査課

令和2年度推奨技術等を6技術選定 ～公共工事等における新技術活用システムの取組～

国土交通省では、有用な新技術の活用促進を図るため、令和2年度推奨技術等を合計6技術選定しました。

公共工事等における新技術活用システムは、民間企業等により開発された新技術を、公共工事等において積極的に活用していくためのシステムです。

システムの中核となる新技術情報提供システム(NETIS)により、新技術の情報収集と共有、国土交通省工事等での新技術活用効果の評価等を行っています。

その中で、優れた新技術の活用促進を図るため以下のとおり推奨技術等を選定しました(別添1, 2参照)。

【選定技術一覧】

令和2年度推奨技術	① QS-170005-VE クマンツメ
令和2年度準推奨技術	① KT-160124-VE ロードラインマーキュリー ドライサポート工法 ② QS-160049-VE CI-CMC-HA 工法 ③ KT-110039-VE トリグリッド
評価促進技術	① HR-100008-VR スロープガードフェンス工法 ② QS-170028-A 小口止太郎

○推奨技術

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術

○準推奨技術

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術で、推奨技術と位置づけるためには更なる発展を期待する部分がある新技術

○評価促進技術

他機関等の実績に基づき、公共工事等に関する技術水準等を高めることが見込める技術

<問い合わせ先>

○国土交通省 大臣官房 技術調査課 菊田、福井 (内線 22346)

代表：03-5253-8111、直通：03-5253-8125、fax：03-5253-1536